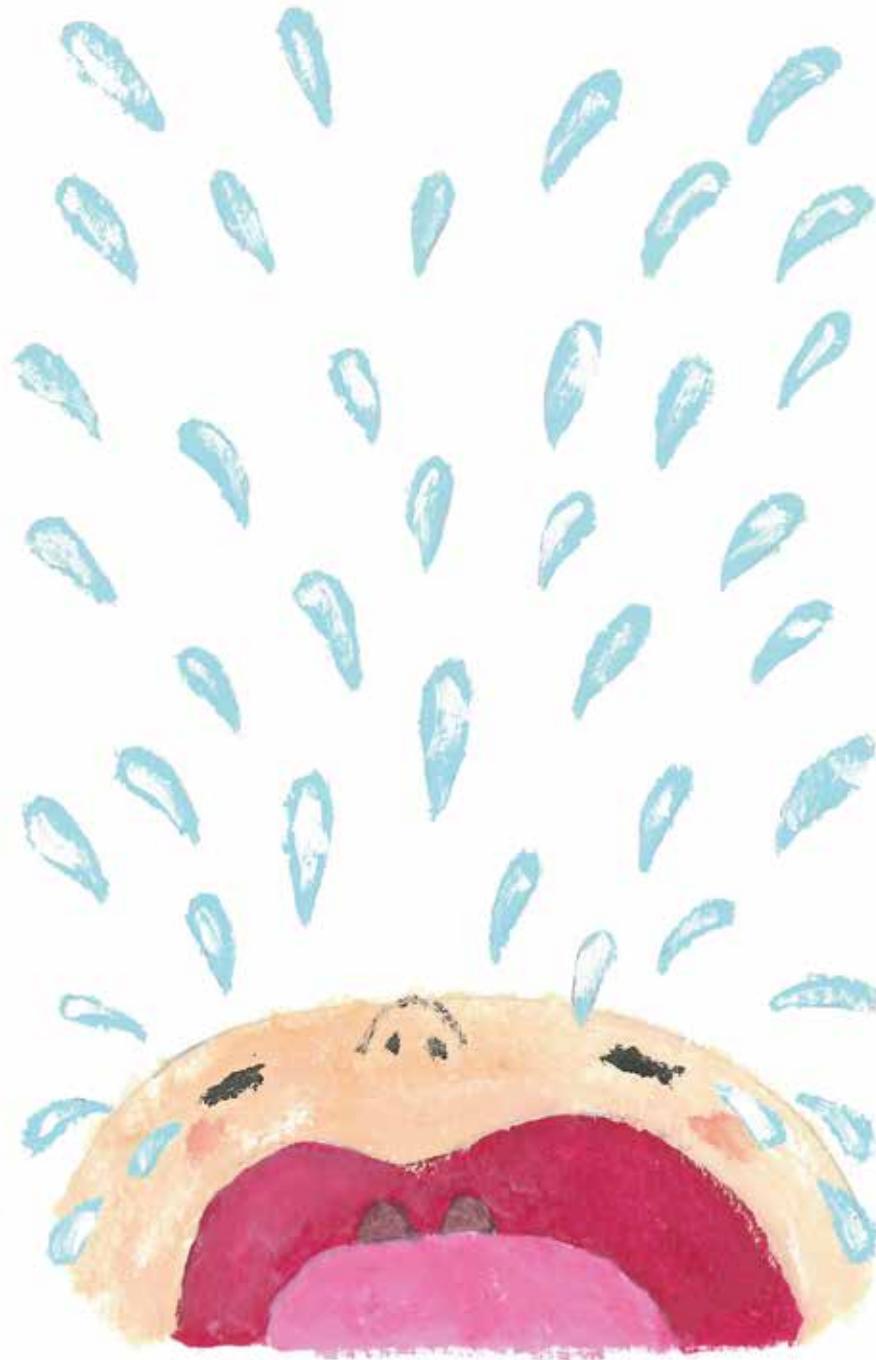




我が子でも  
ややこじて ややこじもん



「〇〇したい」「〇〇してほしい」といういろんな気持ちはあるものの、その気持ちをどのようにして相手に伝えるのかがわからず、困っているのです。

そんな時、周りの誰かから「もしかしたら〇〇っていう気持ちじゃないから」とアドバイスをもらつたら、"一つのヒント"だと思つて実行してみるのもありだと思います。その結果はさておき、アドバイスの数だけ赤ちゃんの気持ちと一緒に考えててくれる人がいるということですね。

赤ちゃんって、ややこしいですよね。今、どうして泣いているのかわからないし、どうして笑っているのかもわからぬ。眠いなら寝たらしいのに、寝ぐずるし…。理由が分からぬから、「自分は母親失格じゃないのかしら」と一人で悩んでいる人もいるのではないでしょうか。

でも、最初から赤ちゃんの気持ちがバツチリ分かる人なんて、どこにもいません。「なぜ泣くのかしら」と思い悩みながら、一所懸命に分かろうと試行錯誤するだけで、赤ちゃんは「自分のことを考えてくれているのだ」と感じて親の努力をちゃんと認めてくれます。

困っているのは赤ちゃんも同じ。